

# 平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		部課コード		050100	2998-9211				
事業コード		担当部課		文化芸術振興課					
050106		市民文化センター管理運営事業		ケルーフ 国際企画					
開始年度		平成 5 年度	終了年度		年度				
事業の概要	事業の種類別	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加			
	分野別計画・指針	根拠法令							
	関連・類似事業	所沢市民文化センター条例 所沢市民文化センター条例施行規則							
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	市民文化	基本方針	個性あふれる文化の創造		
事業開始の背景	文化芸術に対する市民の多様化するニーズに対応し、個性豊かな魅力ある市民文化を創造するため、市民文化センターを開設した。								
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)								
	所沢市における文化芸術振興のため、市民文化センターにおける事業運営と施設管理を行い、市民の芸術に触れ合う機会の増進と施設利用者の増加を促進する。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)		対象数	単位	平成 26 年度	342,564 人			
市民、市民文化センター				平成 27 年度	343,067 人				
事業の具体的な内容及び実施方法									
<p>&lt;施設の管理運営&gt;</p> <p>施設の管理運営については、公益財団法人所沢市文化振興事業団と平成24年度から5年間の指定管理協定を結んでいる。指定管理者は、管理協定に基づき、芸術・文化振興事業(自主事業)及び施設管理運営事業を遂行する。施設利用者(施設を借りる者)は、利用申請書を提出し、施設を利用する。市は、モニタリング制度に基づき、指定管理者の継続的監視を実施する。指定管理者は、毎月、四半期、年度末に報告書を提出する。</p> <p>&lt;施設の維持管理&gt;</p> <p>当課、営繕課、指定管理者で、施設の修繕・工事について協議を行い、協議に基づく修繕計画を立てる。営繕課が修繕・工事の設計を行う。設計完了後に現場説明会・入札を行い業者を決定する。請負業者は、修繕・工事を施工する。修繕・工事完成後に契約課工事検査室の検査を受ける。</p>									
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額			491,448	507,401	521,025			
	決算(見込み含む)			493,063	500,957				
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)	( 0.00 人)	( 0.00 人)	( 人)	( 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
	正規職員人件費	0.26 人	2,267	0.55 人	4,763				
	事業費合計			495,330	505,720				
財源内訳	一般財源	489,059	499,586	514,749					
	国・県支出金								
	その他( )	6,271	6,134	6,276					
実績	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	年間施設利用日数	1日のうち1区分でも利用のあった日数の年間累計	日	3,769	3,769	3,886	3,900	
		年間施設利用回数	区分(1日、3区分)毎の利用回数の年間累計	回	8,655	8,715	8,915	9,620	
		自主事業イベント観客入場率	入場者数÷定員	%	70	76	75	75	
成果	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	施設稼働率	年間利用回数÷年間利用可能回数(閉館日を除く)(実績、実態を調査し、H27より目標値を修正)	%	目標値	75	65	65	70
				%	実績	63	64	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」 拡大図る	<input type="checkbox"/> 「実績」 縮小図る
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	84	99	どちらかをチェックしてください		
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析					
	<p>・モニタリング制度に基づいた指定管理者からの報告を活用し、課題等について情報を共有し、改善の必要のあるものは、早急に対応した。</p> <p>・今後の改修にあたり、従来手法だけでなく、民間事業者のノウハウを活用した改修について検討を始めた。</p> <p>・生活様式の変化や、利用者の安全面に配慮し、大ホール1階の女性トイレの形態を和式10基・洋式4基から和式4基・洋式10基へ、中ホール2階の女性トイレの形態を和式5基・洋式3基から和式1基・洋式7基へ、改修した。</p>			<p>当施設を会場とする自主事業本数を前年より増加させたことや、貸館のキャンセル待ち予約を受け付ける等利用申請の方法を見直したことにより、前年より実績値を伸ばせたが、目標値には達しなかった。より広く利用される施設を目指し、指定管理者と協議しながら進めていく。</p>					
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	理由	施設の改修については、従来手法だけでなく、さまざまな手法の中から、費用を抑えながらも効果的な改修を実現できる方法を検討する。		
		<input type="checkbox"/> 終了		<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化	<input type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> その他	現状の施設規模・サービス水準を保ちつつ、利用者の安全等を確保した管理運営を委託するためには、必要最低限の費用である。	
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性					
	開館より20年以上が経過しており、施設・設備等の老朽化に全般的に対応するため、大規模改修が必要となっている。改修を最大限効果的なものとするべく、今年度は最適な改修手法について調査を行っている。			今年度実施の調査の結果を踏まえて、改修手法を検討・決定し、平成30年度から改修に着手できるよう事務を進める。					
評価日		H28.8.16		評価者職氏名		文化芸術振興課長 吉田 謙治			
環境影響	有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	施設の管理運営		規制を受ける環境法令等	無	
							緊急事態	無	